

令和7年度 第2回
兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化推進協議会
企画委員会

令和8年3月9日（月）15：00～17：00
ラッセホール5階 ハイビスカス

第1回企画委員会（R7.12.25）での主な議論

基本方針に関する意見

- エリア全体で横連携し、共通の方向性を持ちブランディングしていく必要がある（橋爪委員）
- 「一体のエリア」として認識させる機運やイメージが不足。万博に続く明確な打ち出しが必要（赤澤委員）
- 当初掲げられた理念に立ち返ること、見直し・再定義を行うことも重要。
ベイエリアの今後のイメージを居住者にも共有されていかなければならない（平田委員）
- 目標が不明確なままではプロジェクトの寄せ集めにとどまる。
長期的な視野に立ち、市民を含めた形でビジョンや地域の可能性を共有していく必要がある（織田澤委員）

各プロジェクトに関する意見

- 大阪IR開業を見据え、海上交通の充実、整備に向けた取組の強化を進めていくことが望ましい（木崎委員）
- 神戸空港国際化は極めて大きなチャンス。エリア全体の構造を変えるフックとして捉えるべき（橋爪委員）
- 神戸にスーパーヨット等のコンテンツが集積することを強みに、瀬戸内DMOとの連携をより一層強化する必要がある（川上委員）
- SDGsの次の概念として、「ウェルビーイング」を軸とした考え方が提唱されている。
事業推進にとどまらず、2030年以降の社会が求める価値観を踏まえた議論へ発展させるべき（石川委員）
- 観光の次の事業として、「ラーケーション」という考え方が出てきている（橋爪委員）
- 公共が保有する土地をいかに民間活用につなげるかが重要。
淡路をはじめ、阪神間でも工業用地、物流、観光を広域で一体的に捉える視点が必要（橋爪委員）

本日の議題

第1回企画委員会での議論

「目指す姿」の 実現に向けて

エリア共通の方向性

当初の理念への
立ち返り・再定義

住民との
イメージの共有

2030年に向けた 主なキーワード

大阪IR開業

神戸空港国際定期便就航

万博後の海上交通

スーパーヨット

万博レガシー

ウェルビーイング

未利用地の活用

【議題1】「目指す姿」の再確認

- これまで万博というテーマに向け、各プロジェクトを重視したため、基本方針の「目指す姿」へのつながりが曖昧であった
- 基本方針は多様な主体・テーマを包含しているため、2030年に向け、**テーマを絞り込んだ議論**を展開し、方向性の共有を図る
- R8年度以降は「目指す姿」を実現するための「**重点テーマ**」を設定し、各プロジェクトとのつながりを意識した議論を展開していく

【議題2】重点テーマの設定

- 「**目指す姿**」と**2030年前後のキーワード**を踏まえた「**重点テーマ**」を設定し、R8年度以降の進め方を確認

R8年度以降の企画委員会の進め方

重点テーマ（案）

議題
①

- ① 2030年を見据えた海外・他府県からの誘客促進
- ② 海上交通の在り方
- ③ 多様なライフワークスタイルの実現
- ④ 未利用地等の再整備による賑わい創出



プロジェクトの進捗状況により
相互に入れ替えながら展開

議題
②

基本方針に記載のあるプロジェクト

28プロジェクト + 新規プロジェクト

1. 「目指す姿」の再確認

● 基本方針の「目指す姿」(基本方針P.3より抜粋)

阪神・淡路ベイエリア・アーク構想 ～ダイナミックバイプロジェクト～

2025年大阪・関西万博開催、2030年前後の神戸空港国際化等のインパクトを見据えつつ、阪神・淡路ベイエリアの将来像と、ベイエリア活性化に向けた多様な主体による取組の基本的な方向性を示す長期構想を策定する。



阪神・淡路ベイエリア・アーク構想 イメージ図

【阪神・淡路ベイエリア・アーク構想について】

- ◆ 阪神・淡路ベイエリアを『アーク(フランス語arc-en-ciel:七色の虹、英語ark:弧)と位置づけ、エリア内の7市の連携をイメージ。
- ◆ 大阪広域ベイエリアの将来像「クレセントリンク・おおさかベイ」とも連携し、アークとクレセントでベイエリアを成長エンジンのコアと位置づけ、ベイエリア全体の魅力を高めていく。
- ◆ 阪神・淡路ベイエリアにとどまらず、本方針に基づくプロジェクト実施を通じて、**ベイエリアと県内各地や大阪湾・瀬戸内を結び、さらなる広域連携を推し進めていく。**

目指す姿

- ◆ 世界から人・モノ・投資を呼び込み、ものづくり産業の革新を促すとともに、経済・社会活動のイノベーションを創出し、新たな産業やビジネスモデルが立ち上がる**創造的なエリア**として、**国際レベルでの競争力を高める。**
- ◆ また、社会、経済、環境、いのち(身体、精神)の豊かさが共存するウェルビーイング(幸福・健康)でサステナブル(持続可能)なエリアとして、**新たな価値、ライフスタイルを創造・発信する。**
- ◆ こうした変革は、産学公民が目標を共有し、協働して取組むことで生み出され、**さらに新たな資源を呼び込んで加速する。**また、阪神・淡路ベイエリアを起点に、県内各地はもとより、**関西・瀬戸内などの地域を広く巻き込みながら連鎖的かつダイナミックに展開される。**

各地域の目指す姿

ベイエリアには個性と強みを持つ地域が連担する。各地域がその強みを活かすとともに、**相互に補完、連携**することで、圏域全体の新たな価値や魅力、卓越した総合力の創出をめざす。

神戸エリア

チャレンジエリア

－新たなチャレンジを促しイノベーションを創出する－

神戸空港の国際化も見据えながら、ウォーターフロント再開発等の先導的プロジェクトを基盤に、民間の活力を呼びこみ、**阪神・淡路ベイエリアの活性化を牽引する成長エンジンのコア**とする。**多様なプレイヤーが滞在、交流し、常に新たな挑戦が沸き上がるエリアを創出する。**

阪神エリア

万博のレガシーを実装するエリア

－次世代へと繋ぐ新たなライフスタイルを創造する－

生活と産業、都市と自然等、多様な要素が近接・混在する環境や、民間中心で独自の文化を醸成してきた風土、豊かな教育環境等を活かして、**新たなライフスタイル・エリアを創造する。**大阪・関西万博が掲げる「いのち輝く未来社会」を実装し、**レガシーとして次世代へと引き継いでいく。**

淡路エリア

生命あふれる原点回帰エリア

－国内外からの人の流れと交流を生み出す－

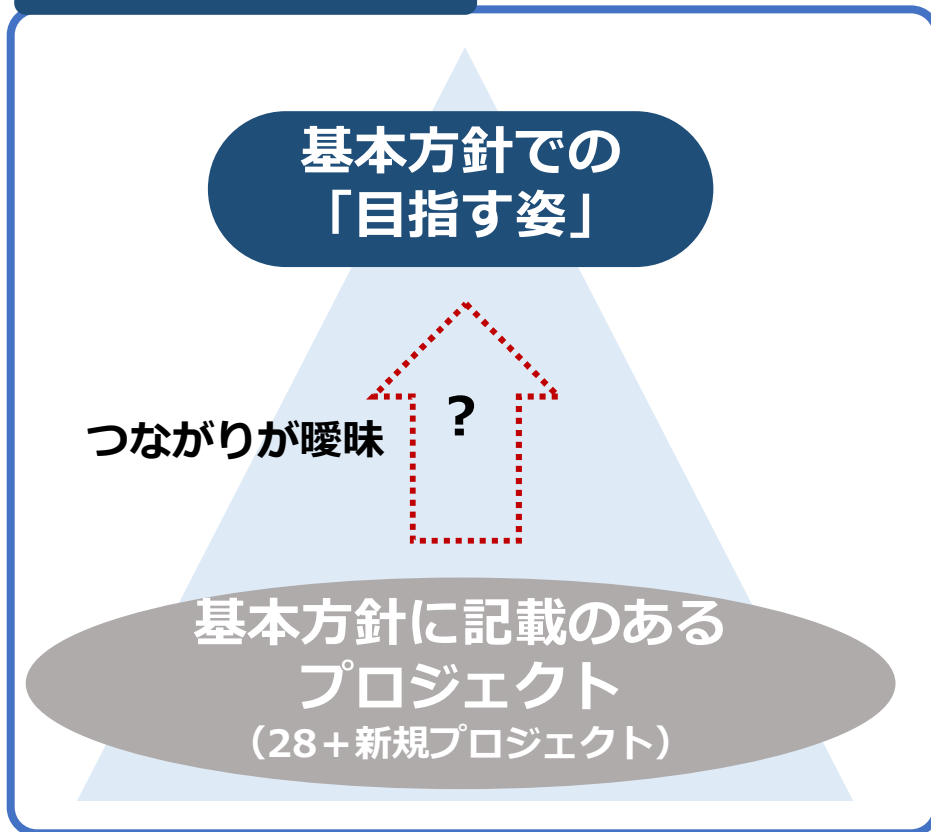
神戸大都市圏への近接性、豊かな食や自然、地域に息づく歴史・文化を活かして、**国内外からの人の流れと交流を生み出す。**人とのふれあい、本物の体験等を通じて、**暮らしの本質を思い出し、原点へと立ち返る場や機会を創出する。**

1. 「目指す姿」の再確認

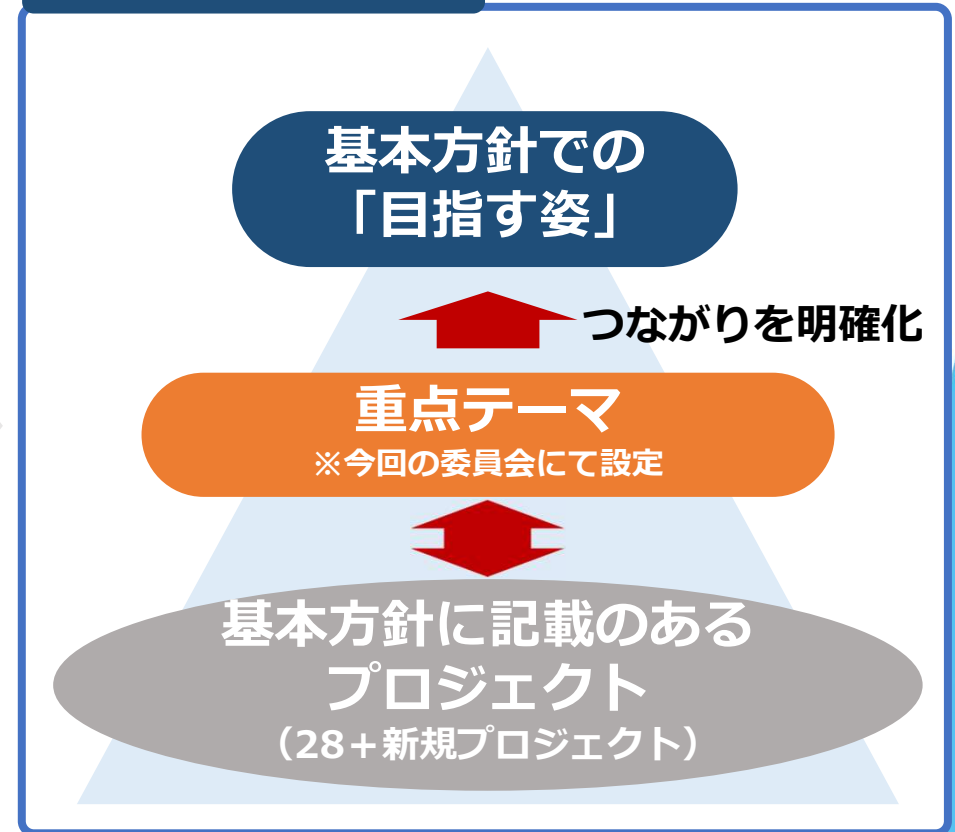
● 「目指す姿」と重点テーマの位置づけ

- 「目指す姿」の実現に向け、「目指す姿」と各プロジェクトの関係性を明確化するために、新たに、より具体化した「重点テーマ」を設定し、企画委員会の場で、2030年に向け議論していきたい
- なお、「目指す姿」の内容そのものは、2040年頃の兵庫の姿として定義しており、現時点で、大きな方向性の変化がないことから、現行のままとしていきたい

これまでの位置づけ



今後の展開



2. 2030年に向けた重点テーマの設定

ベイエリアが目指す姿

【主なキーワード】

世界から人・モノ・投資の呼び込み／経済・社会活動のイノベーション／
国際レベルでの競争力／ウェルビーイング（幸福・健康）／
サステイナブル（持続可能）／新たな価値、ライフスタイルを創造・発信

各地域の目指す姿

神戸エリア
チャレンジエリア

阪神エリア
万博レガシーを実装するエリア

淡路エリア
生命あふれる原点回帰エリア

今後の重点テーマ案

①海外・他府県からの
誘客促進

②海上交通の在り方
(万博後～2030年)

③多様なライフワーク
スタイルの実現

④未利用地等の再整備
による賑わい創出

基本方針に記載のあるプロジェクト + 新規プロジェクト

神戸空港国際定期便就航
に向けた誘客促進策の検討

大阪IR開業
に向けた誘客促進策の検討

スーパーヨットの
誘致

県内港ガイドライン
の作成

多様なスポーツ施設
の活用

ラーケーション
の検討

津名港周辺未利用地
の再開発

鳴尾浜臨海公園
の再整備

2. 2030年に向けた重点テーマの設定

● 次年度以降の企画委員会の進め方

議題①

重点テーマ（案）	関連プロジェクト・事業
① 2030年を見据えた海外・他府県からの誘客促進	・ 神戸空港国際定期便就航 ・ 大阪IR開業 等
② 海上交通の在り方（万博後～2030年）	・ スーパーヨットの誘致 ・ 県内港ガイドラインの作成 等
③ 多様なライフワークスタイルの実現	・ 多様なスポーツ施設の活用 ・ HYOGOアサ@プロジェクト ・ ラーケーション 等
④ 未利用地等の再整備による賑わい創出	・ 津名港周辺未利用地の再開発 ・ 鳴尾浜臨海公園の再整備 等

委員会での議論により
各主体の取組を誘発



関連市・民間企業の取組

プロジェクトの進捗状況により
相互に入れ替えながら展開



基本方針に記載のあるプロジェクト + 新規プロジェクト・公共事業

- ・ 関連市・企業等に照会し、各プロジェクトの進捗状況や課題を委員会で共有（年1回程度）
- ・ ベイエリアの公共事業等についても把握し、議論の土台となる情報として共有

神戸都心再整備
（三宮・元町エリア）

神戸ウォーターフロント
の活用

ウェルネスツーリズム
の推進

等の進捗状況を把握・共有

新規プロジェクト
として吸い上げ



議題②